

# 2024年3月期第2四半期 決算説明会

地球をつつむ思いやり  
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ  
2023年12月7日

東証スタンダード  
【証券コード：9366】



## 本日のご説明内容

---

1. 2024年3月期第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期新中期経営計画
3. 2024年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix
  - ・2024年3月期第2四半期 連結貸借対照表
  - ・2024年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書
  - ・外部環境

## 1. 2024年3月期第2四半期決算概要

1. 2024年3月期第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期新中期経営計画
3. 2024年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

## 1-1. 2024年3月期第2四半期決算概要

- ・売上高：海上運賃の大幅な下落により、減収
- ・営業利益：材料費・販売費及び一般管理費の増加により、減益

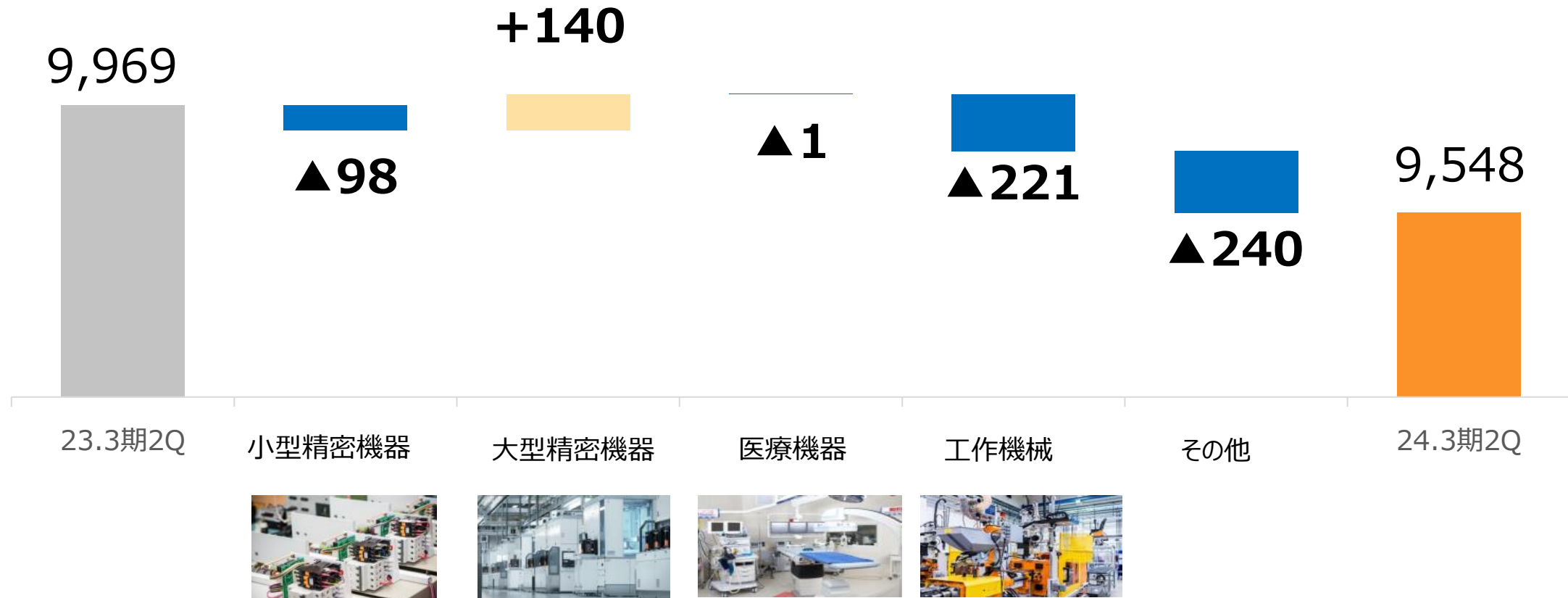
単位：百万円	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	増減率	2Q業績予想	予想比増減率
<b>売上高</b>	9,969	9,548	▲4.2%	10,000	▲4.5%
売上原価	7,942	7,505	▲5.5%	-	-
（売上原価率）	79.7%	78.6%	▲1.1pt	-	-
販売管理費	1,459	1,682	+15.3%	-	-
（販売管理費比率）	14.6%	17.6%	+3.0pt	-	-
<b>営業利益</b>	566	359	▲36.6%	440	▲18.3%
（営業利益率）	5.7%	3.8%	▲1.9pt	4.4%	▲0.6pt
経常利益	776	460	▲40.8%	420	+9.5%
<b>当期純利益※</b>	542	313	▲42.1%	280	+12.1%
（当期純利益率）	5.4%	3.3%	▲2.1pt	2.8%	+0.5pt

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益及び純損失を示します。以降のページ同様です。

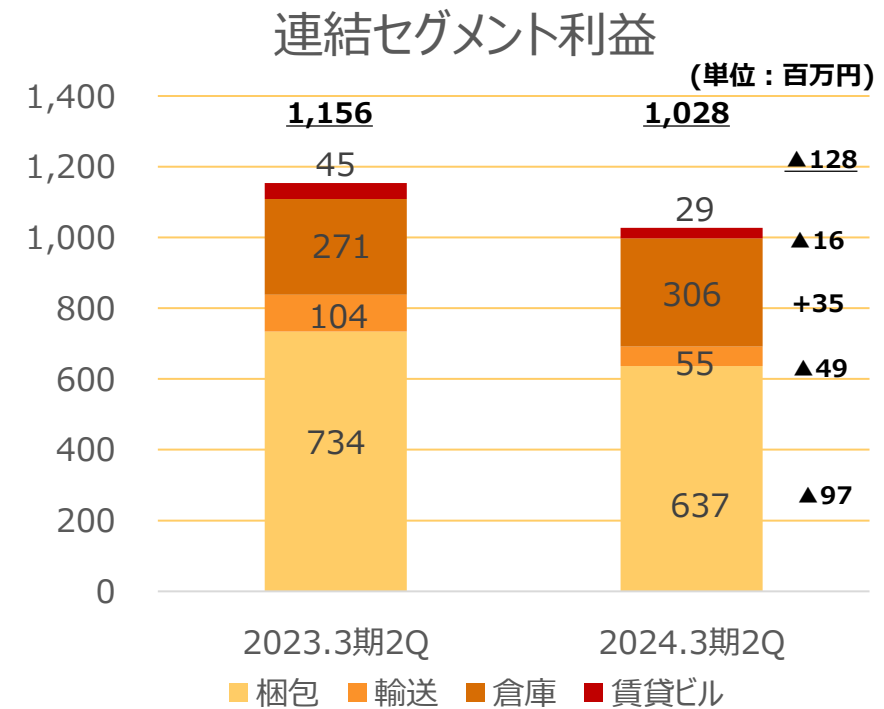
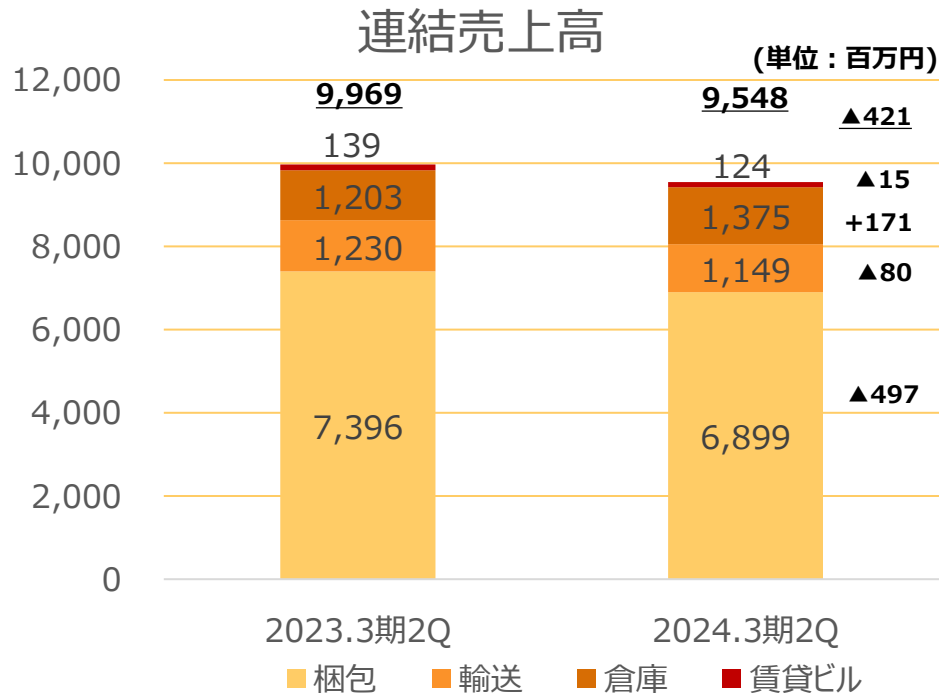
## 1-2. 取扱製品群別売上高増減

半導体製造装置及び工作機械の輸出が減少傾向にあり、出荷待ち製品の保管が増加したものの、工作機械の輸出に伴う海上運賃の大幅な下落が影響

(単位：百万円)



### 1-3. セグメント別実績



#### ◆梱包事業：減収減益

- ・工作機械の輸出に伴う海上運賃が前期に比べて大幅に下落したため、減収
- ・積極的人材確保による販売費及び一般管理費が増加したため、減益

#### ◆運輸事業：減収減益

- ・工作機械及び医療機器の取扱いが減少したことに加え、外注費の値上がり分を価格転嫁交渉を行ったものの、十分に補えず減収減益

#### ◆倉庫事業：増収増益





- ・出荷待ち製品の保管取扱いが増加したことで、売上高・利益ともに増加

#### ◆賃貸ビル事業：減収減益

- ・本社ビルの稼働率低下及び保険料値上がりにより減収減益

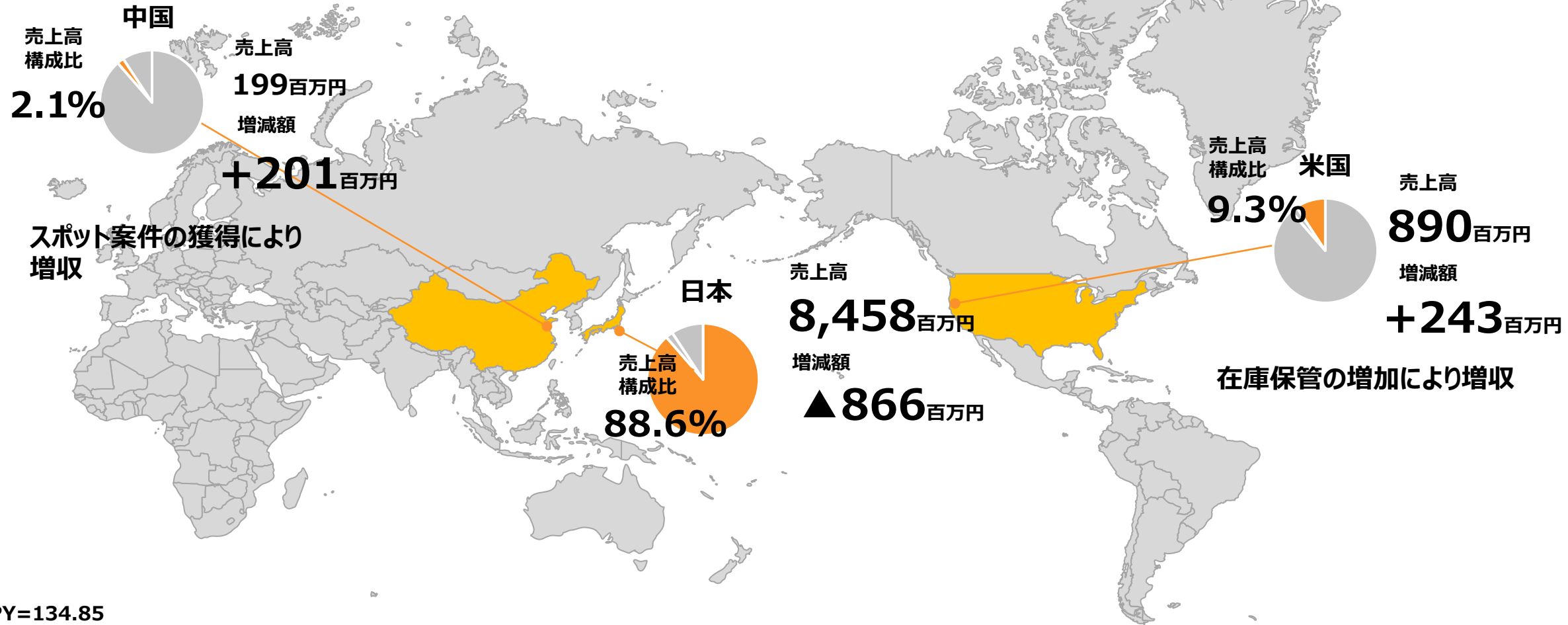
## 1-4. セグメント・取扱製品群別売上実績

出荷待ち製品の保管増加により、倉庫事業は好調

単位：百万円 ( ) は、前期比増減額		梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸事業	合計
小型精密機器		2,298 (▲136)	568 (+59)	456 (▲21)	-	3,322 (▲98)
大型精密機器		1,226 (+63)	73 (▲31)	448 (+109)	-	1,748 (+140)
医療機器		530 (+43)	212 (▲41)	291 (▲3)	-	1,033 (▲1)
工作機械		2,693 (▲223)	268 (▲70)	133 (+60)	-	3,096 (▲221)
その他		151 (▲243)	26 (+3)	45 (+15)	124 (▲15)	347 (▲240)
計		6,899 (▲497)	1,149 (▲80)	1,375 (+171)	124 (▲15)	9,548 (▲421)

## 1-5. 地域別売上高

### 日本は減収も中国・米国は好調な推移



USD/JPY=134.85

CNY/JPY=19.45



## 2. 2024年3月期～2026年3月期 新中期経営計画について

1. 2024年3月期第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期新中期経営計画
3. 2024年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

## 2-1. 新中期経営計画の概要

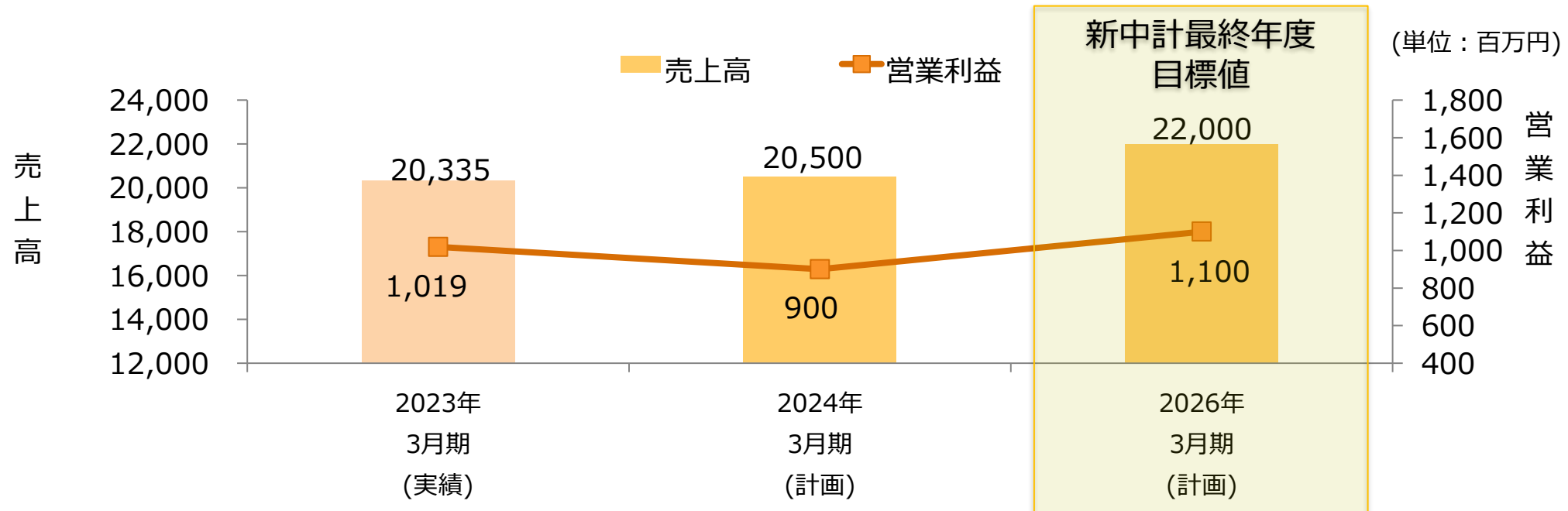
# オペレーションからソリューションへ

### 『ソリューション』

お客様との対話を繰り返すことで、今まで引き出せなかったニーズだけでなく、お客様さえ気づいていない真のニーズを引き出し解決する「ソリューション」の力を身に着けていく。

## 2-2. 新中期経営計画の概要（経営目標）

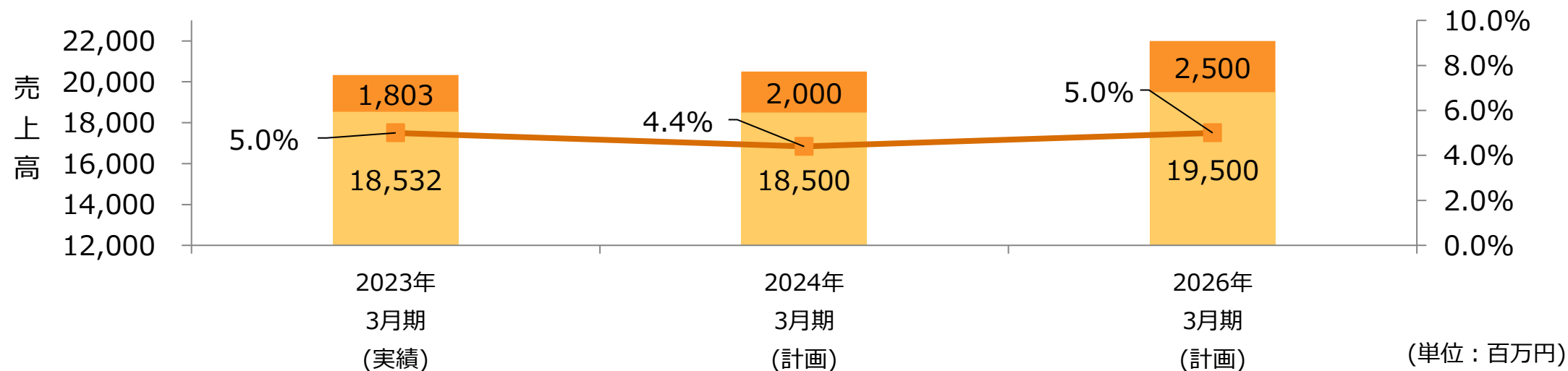
<b>2026.3</b> 売上高 <b>22,000</b> 百万円	<b>2026.3</b> 営業利益 <b>1,100</b> 百万円	<b>2026.3</b> 営業利益率 <b>5.0%</b>
伸び率 8.2%	伸び率 7.9%	伸び率 —
2023.3 売上高 20,335百万円	2023.3 営業利益 1,019百万円	2023.3 営業利益率 5.0%



## 2-3. 新中期経営計画の概要（国内海外比較）

**重要指標：2026年3月期 営業利益率5.0%**

国内売上高 海外売上高 連結営業利益率




連結	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画)	2026年3月期 (計画)
売上高	<b>20,335</b>	<b>20,500</b>	<b>22,000</b>
国内	18,532	18,500	19,500
海外	1,803	2,000	2,500
営業利益	<b>1,019</b>	<b>900</b>	<b>1,100</b>
国内	907	720	880
海外	112	180	220
営業利益率	<b>5.0%</b>	<b>4.4%</b>	<b>5.0%</b>

## 2-4. 新中期経営計画の概要（事業戦略）

### 成長戦略

1. シームレスな国際一貫物流サービスを推進し、輸出入案件の拡大→米国で培ったノウハウを欧州へ展開
2. 顧客理解深化によるソリューション提案→ソリューション営業戦力を増強し、選ばれるパートナーへ
3. 成田地区の事業拡大→滑走路の延伸計画を受け、2026年に新倉庫稼働を目指す

### 事業戦略

設備投資	収益性向上	DX戦略
国内：物流DX 5 億円 サステナビリティ 5 億円 更新・設備投資 5 億円 成田地区新倉庫50億円 海外：欧州進出10億円 <div style="text-align: center;">   <b>3年総額75億円</b> </div>	取引採算の向上 ・事業環境等を勘案し、サービスの適正価格を追求  米国西海岸の新倉庫の安定稼働 ・米国内輸送の一貫物流サービスの早期構築	省力・省人化で5%相当の労働力の創出を目指す ・デジタル化による標準化・見える化の推進 ・自動化による簡素化・効率化の推進 ・AI活用による最適化・全社共通化の推進
<b>サステナビリティ</b>		
顧客と連携し、環境にやさしい梱包、輸送の提案、推進		

## 2-5. 新中期経営計画の概要（基盤強化）

### 人材育成戦略

1. ソリューション推進人材の確保及び育成
2. 梱包スペシャリスト人材の増強

### サステナビリティ

1. ダイバーシティ&インクルージョンの推進
  - ・女性活躍の環境整備
2. 職場環境の整備及び向上
  - ・安全・安心で働きがいのある職場環境の実現



## 2-6. 新中期経営計画の進捗

	進捗
収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田事業所拡大へ向けて成田新倉庫活用案を顧客に提案</li> <li>米国新倉庫と連携したシームレスな国際一貫物流サービスを提供</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田新倉庫では50億円程度の投資を見込む</li> </ul>
DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>各現場への新システムの導入で作業の生産性・収支を可視化</li> <li>イージーリフターと自動フォークの活用</li> </ul>
サステナビリティの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客へのモーダルシフト提案</li> </ul>
人材育成計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>梱包の人事制度の見直し検討</li> </ul>
サステナビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティPT主催で女性社員交流会開催</li> <li>職場環境アンケートの実施</li> </ul>



**【米国西海岸 新倉庫完成】  
2023年10月稼働開始**

**オーバーヘッドクレーン 30 トン 2 基  
7 トン・3 トンフォークリフト 各 1 台  
敷地面積5,548 m<sup>2</sup>(1,678 坪)  
延床面積2,508 m<sup>2</sup> (760 坪)**

イージーリフターの導入



無人フォーク



## 2-7. その他の取り組み

### 進捗

#### 2024年問題への取り組み



- 成田事業所にてトラック予約受付システムの導入
- 入場時間の事前予約システムと入退場受付システムによって、車両待機の解消や庫内作業の効率化など、課題解決や実績の可視化・生産性の向上を図る



**年間およそ500万円のコスト削減及びトラック待機列の解消**

#### 環境への対応



- 新システム導入により各事業所のCO2を見える化
- 現在、Scope 1とScope 2に対応し、各事業所のCO2排出量を可視化



### 3. 2024年3月期 業績予想

1. 2024年3月期第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期新中期経営計画
3. 2024年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

### 3-1. 連結業績予想

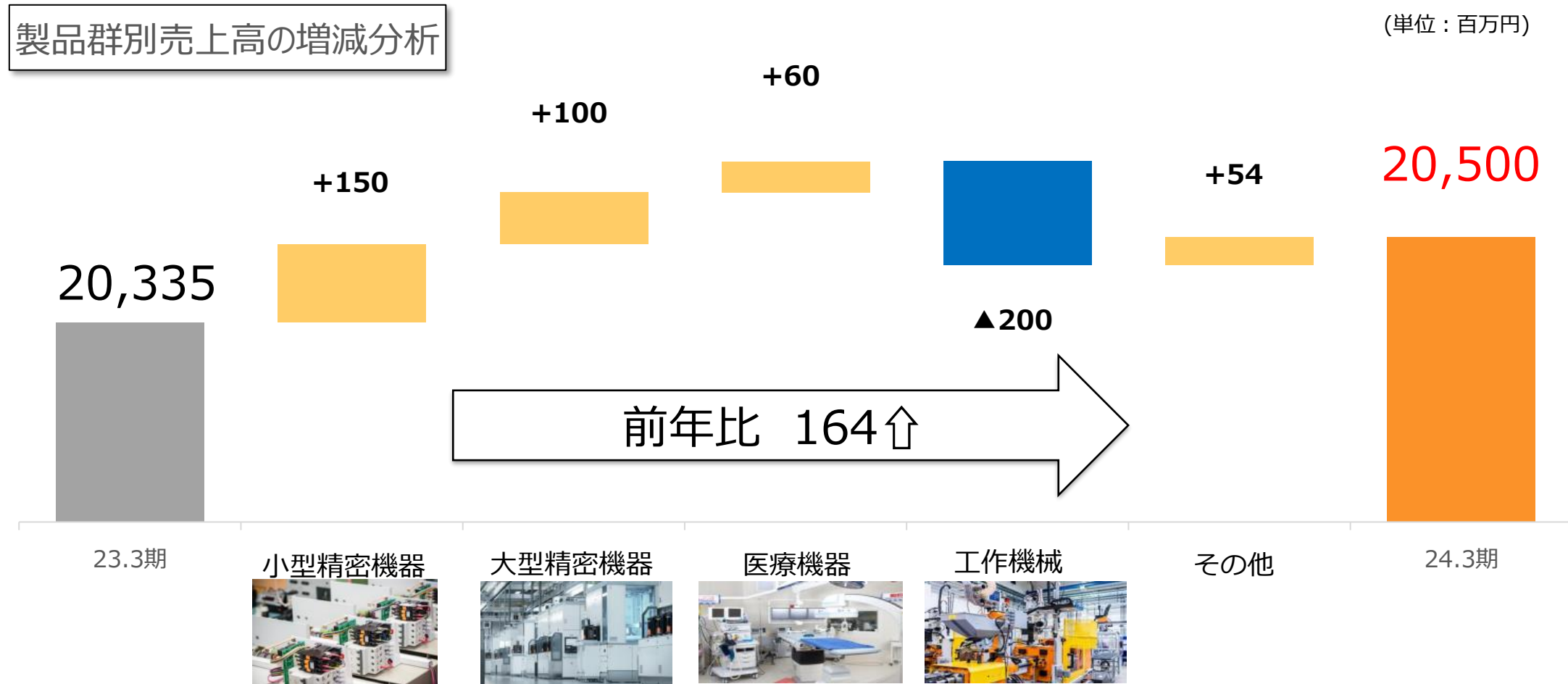
#### 積極的な人材確保の継続に向け、販売管理費を増加

(単位：百万円)

単位：百万円	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (予想)	増減	増減率
<b>売上高</b>	<b>20,335</b>	<b>20,500</b>	<b>+164</b>	<b>+0.8%</b>
売上原価	16,192	16,150	▲42	▲0.3%
(売上原価率)	79.6%	78.8%	▲0.8pt	-
販売管理費	3,123	3,430	307	+9.8%
(販売管理費比率)	15.4%	16.7%	▲1.3pt	-
<b>営業利益</b>	<b>1,019</b>	<b>900</b>	<b>▲119</b>	<b>▲11.7%</b>
(営業利益率)	5.0%	4.4%	▲0.6pt	-
経常利益	1,203	850	▲353	▲29.4%
<b>当期純利益</b>	<b>980</b>	<b>560</b>	<b>▲420</b>	<b>▲42.9%</b>
(当期純利益率)	4.8%	2.7%	▲2.1pt	-
(参考) 設備投資	1,260	1,070	▲190	-
(参考) 減価償却費	760	800	+40	+5.3%

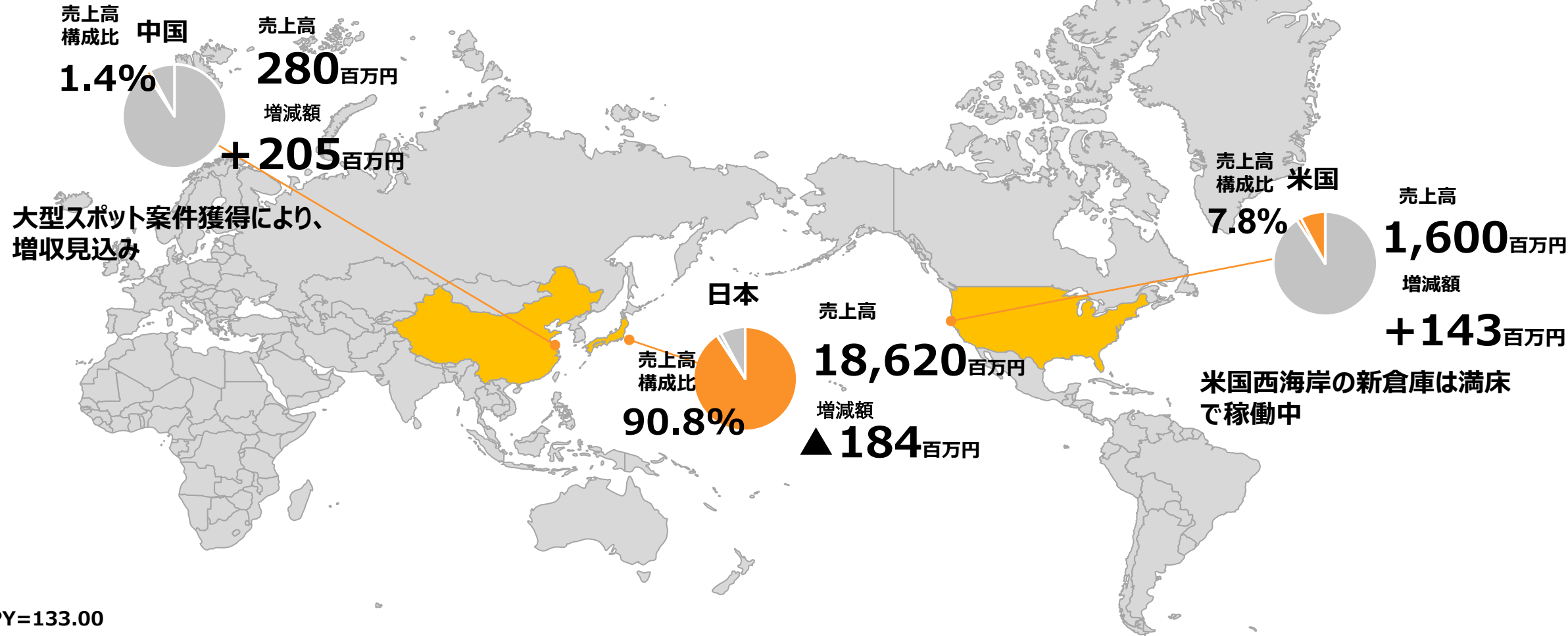
### 3-2. 取扱製品群別業績予想

- ・工作機械：設備投資への一服感がみられ、減少予想
- ・大型精密機器：中国子会社のスポット案件により増加の見込み



### 3-3. 地域別業績予想

## 米国は新倉庫稼働、中国は大型スポット案件（獲得済）により増収見通し



USD/JPY=133.00

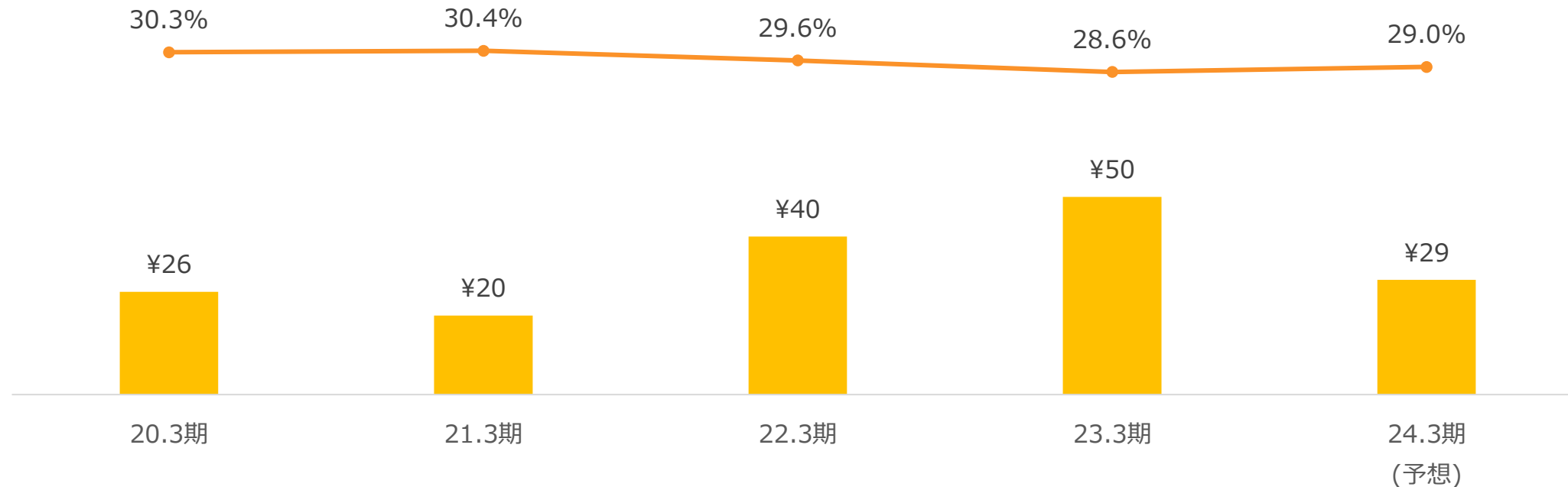
CNY/JPY19.00

### 3-4. 配当方針

**株主還元方針：連結配当性向30%を目途に検討**

**2023年3月期は、1株当たり50円（過去最高）の配当を実施**

**2024年3月期は、株主還元方針に基づき、1株当たり29円の配当予想**



## 4. サステナビリティへの取組み

1. 2024年3月期第2四半期決算概要
2. 2024年3月期～2026年3月期新中期経営計画
3. 2024年3月期 業績予想
4. サステナビリティへの取組み
5. Appendix

## 4-1. サステナビリティ基本方針の策定

# — サステナビリティ基本方針 —

サンリツグループは、「美しく魅力のある会社サンリツの実現を目指します」との企業理念を踏まえ、  
誠実な事業活動を通じて、社会の持続的成長に貢献します。

- 1 「経営品質の向上」のため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいきます。
- 2 物流の課題をソリューションすることで、新しい価値を創造します。
- 3 すべての人々の人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。
- 4 安全・安心で働きがいのある職場環境を実現していきます。
- 5 お取引先様、従業員、株主、地域の皆様等のステークホルダーと積極的にコミュニケーションを取ること  
で、「物流品質の向上」につなげていきます。

## 4-2. 環境への取り組み

### 世界包装機構主催のパッケージングコンテストにおいて、ワールドスター賞を受賞!



	受賞歴
2023年	世界包装機構主催 World Star 2023 ワールドスター賞 受賞 『工数削減・環境負荷低減を目的とした緩衝スペーサーの開発』
2022年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞
2021年	Good Packaging 工業包装部門賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2021 ワールドスター賞 受賞
2019年	Good Packaging 輸送包装部門賞 受賞
2018年	Good Packaging 包装アイデア賞 受賞 アジア包装連盟主催 Asia Star Winner2018 アジアスター賞 受賞
2017年	Good Packaging テクニカル包装賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2018 ワールドスター賞 受賞
2016年	Japan Star 経済産業省産業技術環境局長賞 受賞 世界包装機構主催 World Star 2017 ワールドスター賞 受賞
2014年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞
2013年	Good Packaging ロジスティクス賞 受賞
2012年	Good Packaging 医薬品・医療品包装部門賞 受賞
2011年	Good Packaging 電気・機器包装部門賞 受賞
2010年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞
2009年	Good Packaging 大型・重量物包装部門賞 受賞

2023年 ワールドスター賞 受賞作品



#### 受賞歴

- ・World Star賞  
4回
- ・Asia Star賞  
1回
- ・Japan Star賞  
1回
- ・Good Packaging賞  
11回



## 4-3. ダイバーシティ・職場環境の向上

### ダイバーシティPTの立ち上げ



### 職場環境アンケートの実施



1. 女性従業員へのヒアリング
  - ・人事制度、設備、会社の文化の3つの切り口から提案
2. 女性交流イベントの実施
  - ・女性活躍の場面を見る、知る機会の創出



1. アンケート結果をもとに設備の導入・環境の整備

豊田事業所に、空調完備の休憩室を設置

## 4-4. サンリツ卓球部の活動

### スポーツ振興 ～サンリツ女子卓球部～

#### ◆概要

- ・卓球部を1979年に創設 ・日本卓球リーグ女子1部に所属

#### ◆直近の主な戦績

- ・2022年日本卓球リーグプレーオフ JTTLファイナル4（内閣総理大臣杯）**優勝**

#### ◆卓球を通じた交流

- ・卓球王国とのコラボにてスマイル卓球教室を開催し、選手による指導やチャレンジマッチを通じた学生や地域の方との交流
- ・サンリツ京浜事業所内にて、「サンリツ・三浦杯 小学生卓球大会」を開催



三浦杯 小学生卓球大会



スマイル卓球教室（長野県長野市東北中学校）

※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463

## 5 . Appendix

- 1 . 2024年3月期第2四半期決算概要
- 2 . 2024年3月期～2026年3月期新中期経営計画
- 3 . 2024年3月期 業績予想
- 4 . サステナビリティへの取組み
- 5 . Appendix

## 【参考】2024年3月期第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2023.3期	2024.3期 2Q	前期比 増減	負債 純資産の部	2023.3期	2024.3期 2Q	前期比 増減
流動資産	6,882	6,437	▲445	流動負債	6,205	5,977	▲227
有形固定資産	12,016	12,461	+444	固定負債	4,710	4,624	▲86
無形固定資産	288	264	▲24	負債合計	10,916	10,601	▲314
投資その他の資産	1,983	2,030	+47	純資産合計	10,255	10,591	+336
固定資産合計	14,288	14,756	+467				
資産合計	21,171	21,193	+22	負債・純資産 合計	21,171	21,193	+22

## 【参考】2024年3月期第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

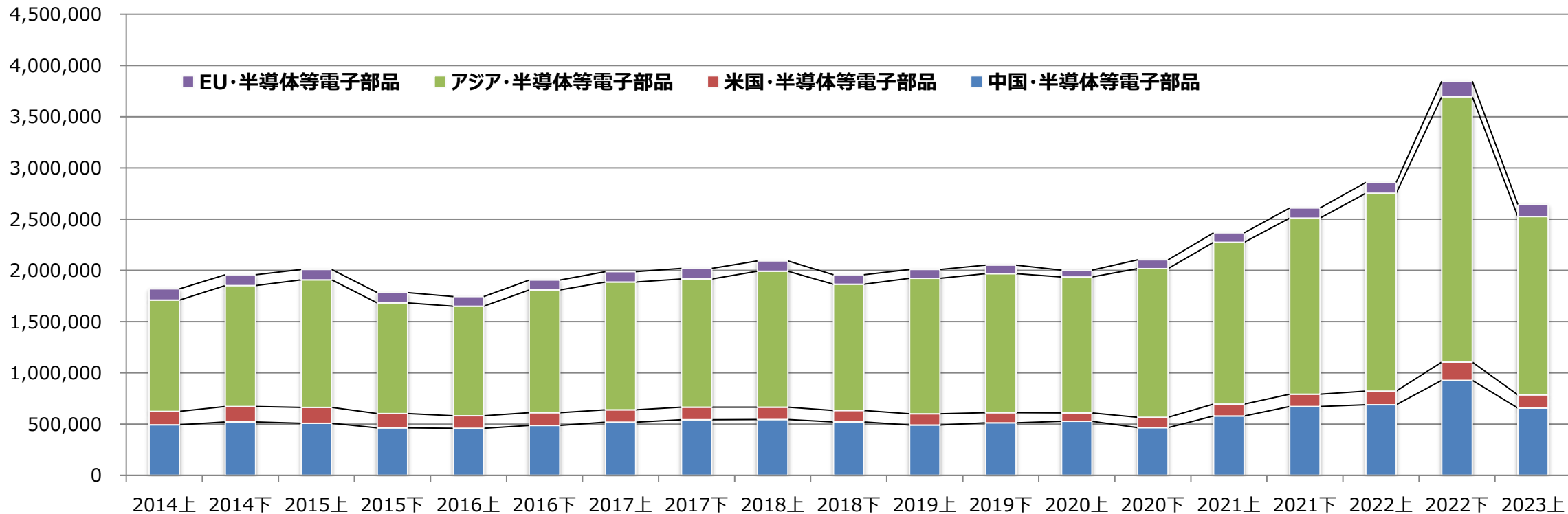
	2023.3期 2Q	2024.3期 2Q	主な要因
期首残高	2,749	2,725	
期中増減額	+567	▲300	
営業活動によるキャッシュフロー	+411	+457	税金等調整前四半期純利益：+460百万円 減価償却費：+379百万円
投資活動によるキャッシュフロー	▲398	▲664	有形固定資産の取得による支出：▲620百万円
財務活動によるキャッシュフロー	+251	▲153	有利子負債の増加：+122百万円 配当金の支払額：▲275百万円
換算差額	+303	+59	
期末残高	3,317	2,425	

# 【参考】外部環境(～2023年度上期)

## 品目別輸出金額 年別推移 (半導体等電子部品)

※半導体等電子部品…熱電子管、個別半導体、ICなど

(単位：百万円)



出典：財務省貿易統計より

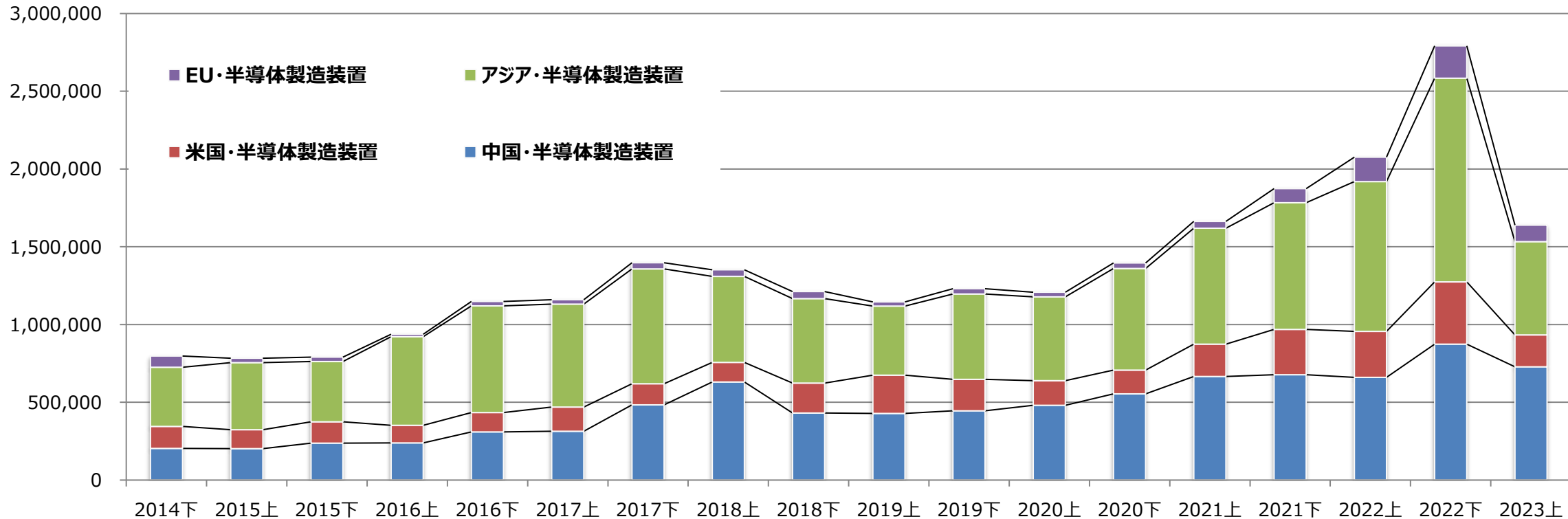
・2022年下期をピークに、2023年上期は大幅な減少

# 【参考】外部環境(～2023年度上期)

## 品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器  
半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

(単位：百万円)



出典：財務省貿易統計より

・2022年下期で大幅な増加がみられたが、2023年上期で急激に減少  
在庫調整の動きか

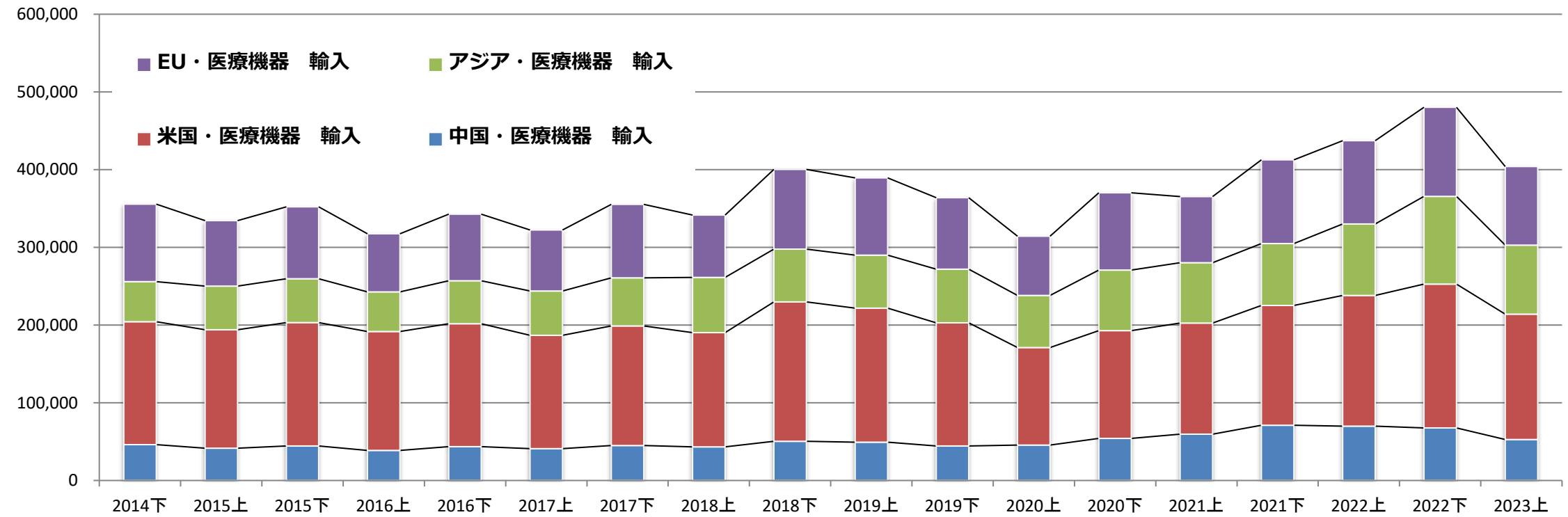


# 【参考】外部環境(～2023年度上期)

## 品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

(単位：百万円)



出典：財務省貿易統計より

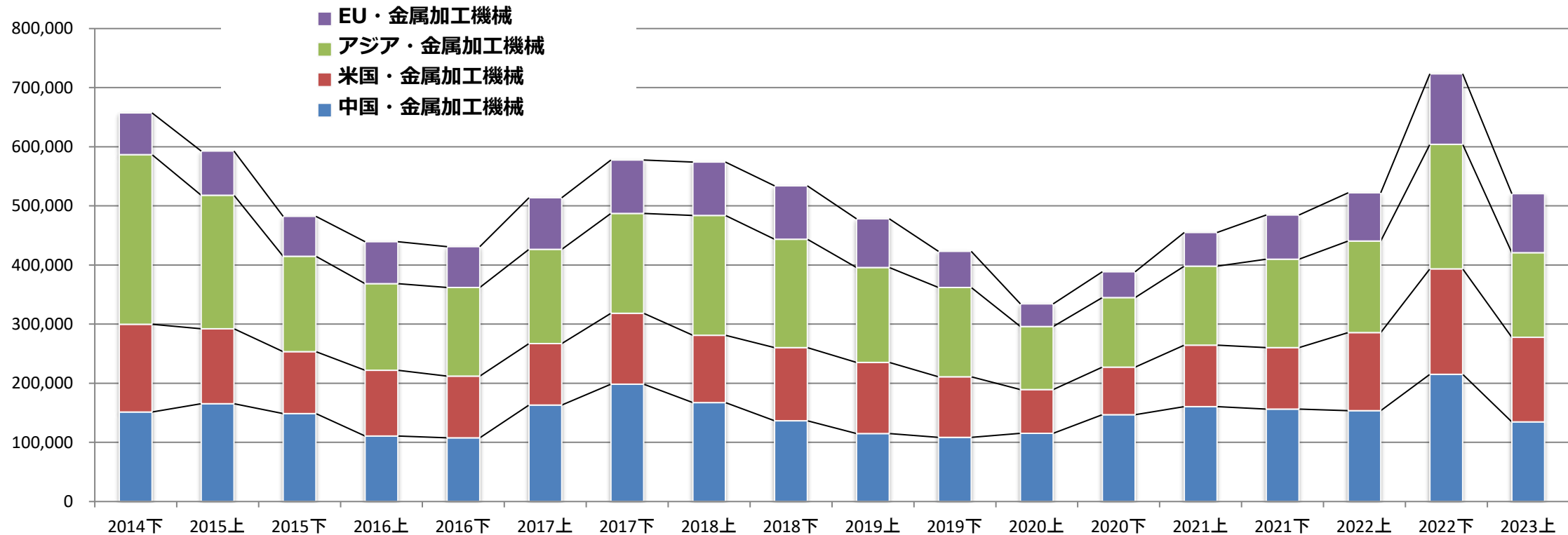
・2022年下期をピークに大きく減少したものの、おおむね堅調な推移となっている

# 【参考】外部環境(～2023年度上期)

## 品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械

(単位：百万円)



出典：財務省貿易統計より

・金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2020年下期に底打ち後、アップトレンドであったが2023上期で大幅減少